様式１

環境保全行動 自動車使用管理 計画提出書

2021 年 8 月 13 日

（宛先）札幌市長

提出者　住　所	〒 060-8661
	札幌市中央区大通西3丁目7番地
氏　名	株式会社　北洋銀行
（代表者名）	取締役頭取　安田　光春

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動 自動車使用管理 計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		62 銀行業					
事業の規模	従業員数	2468	人	原油換算した燃料・熱・電気の合計量	7920.9	kl	
	使用床面積	132567.82	㎡				
	事業所数	78	事業所	自動車使用台数	420	台	
	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）	エネルギー起源CO_2 17900 t-CO_2	メタン t-CO_2	N_2O t-CO_2	HFC t-CO_2		
		非エネルギー起源CO_2 t-CO_2	PFC t-CO_2	SF_6 t-CO_2	NF_3 t-CO_2		
提出根拠		条例第１３条（環境保全行動計画）	☑ 第１項 ☐ 第３項				
		条例第２３条（自動車使用管理計画）	☑ 第１項 ☐ 第２項				
計画期間		2021 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日					
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり					
備考	環境マネジメントシステムの認証登録の有無及びその種類	☐ 有（認証名　　） ☐ 無					
	その他						

別添

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1　基本的な方針

・行員一人ひとりが環境問題の対応を意識し、事業活動のあらゆる場面で考慮していきます。
・地球環境の保全と環境への負荷の削減を図っていくため、地球温暖化の防止(二酸化炭素の削減)、資源の有効活用、廃棄物の排出抑制および有効活用を推進していきます。
・地域社会とのパートナーシップを重視し、法律や札幌市の条例を遵守します。

2　行動目標

【計画期間】
2021 年　4　月　1　日 ～　　2024 年　3　月　31　日

行動目標	基準数値		目標削減率		目標数値		基準数値の設定根拠	削減項目
	数値	単位			数値	単位		
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	18838762	kg	5.5	%	17800000	kg	2020年度実績	電気･燃料
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	248174	kg	2.5	%	242000	kg	2020年度実績	ガソリン
自動車の使用に伴う窒素酸化物排出量の削減	18081	g	5.4	%	17100	g	2020年度実績	車輌台数削減･走行距離
				%				
				%				
				%				

3　行動計画

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2021 年度	2022 年度	2023 年度
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	蛍光灯の点灯本数の削減	各部室 各営業店	全員	実施	実施	実施
	残業時の部分消灯	各部室 各営業店	全員	実施	実施	実施
	トイレ･応接室･会議室･更衣室･書庫等は使用後消灯	各部室 各営業店	全員	実施	実施	実施
	エレベーターの使用を控える(降りおよび数階層の上り)	各部室 各営業店	全員	実施	実施	実施
	省エネに向けた室内温度設定(夏は高め、冬は低め)	各部室 各営業店	全員	実施	実施	実施
	ブラインド･カーテン等の適切な使用により冷暖房負荷の軽減	各部室 各営業店	全員	実施	実施	実施
	冷暖房機運転時間の短縮	各部室 各営業店	全員	実施	実施	実施
	残業･休日出勤を控える	各部室 各営業店	全員	実施	実施	実施
	冷暖房設備の更新時は省エネ型を選定	経営企画部	—	実施	実施	実施
	LED照明への切替	経営企画部	—	実施	実施	実施
自動車の使用に伴う二酸化炭素・窒素酸化物排出量の削減	アイドリングストップおよびエコドライブの実施	各部室 各営業店	全員	実施	実施	実施
	定期点検整備の徹底	各部室 各営業店	全員	実施	実施	実施
	効率的な走行経路の選択による走行距離の圧縮	各部室 各営業店	全員	実施	実施	実施
	シェア等使用方法効率化による車輌台数の削減	経営企画部	—	実施	実施	実施
	リース満了時は普通車から軽自動車への切替	経営企画部	—	実施	実施	実施

４　環境保全に係る実施組織体制

５　その他（環境保全活動の取り組み等）

・環境への取り組みを自社HPで公開
・照明器具LED化の推進